

認定第1号 令和4年度東郷町一般会計歳入歳出

決算認定について 討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 門原武志 議員

令和4年度当初予算は町長の任期満了を見越し骨格予算として編成された。仮に町長が交代した場合も、前任者の政策に縛られないようにした町長の姿勢を評価する。特に評価すべき事業は1人5000円分の商品券配布事業で、換金率94.67%と好評だった。換金額の2倍の4億2458万9000円以上の町外流出を防げた。物価高騰の時期、町長再選後、すぐ実施したことも評価する。財政調整基金の令和4年度末残高は約21億6298万円で、3年度末残高約13億3384万円から大幅に増加し、実質収支額約7億8700万円から繰越金を除いた約7億3700万円を同基金に積み立てた結果、5年度末残高は約19億円以上となる見込み。公共施設の老朽化対策の支出が見込まれるが、減債基金の4年度末残高は約7億2721万円、公共施設整備基金の4年度末残高は約9億247万円で、学校体育館へのエアコン設置、じゅんかい君の充実、高すぎる国民健康保険税の減税など、いつまでも住み続けられる東郷町実現への財源は十分ある。

賛成討論 中野まさひろ 議員

子ども会は、令和4年度において、5つの単位子ども会が減少した。そしてそれに伴い会員数、加入率が激減した。加入率は、何と27.58%である。この問題は、昨年と今年の決算特別委員会でも指摘し、「単位子ども会の役員の方に各単位子ども会の活動状況などの情報共有を図る仕組みを始める準備をしている」旨の答弁をいただいた。そして、このような状況の中、町内各区においては、色々な新しい取り組みを始めている自治会や単位子ども会がある。そんな新しい取り組みを含めて全町に情報共有し、ご自身に子どもがいてもいなくても、地域の子どもたちをその地域の大人たち全体で、ともに力を合わせて育てていける地域を増やし、町全体に広げていく必要がある。そんな取り組みの普及に力を尽くすことを強く提案し賛成する。

反対討論 水川淳 議員

やや私事の感も否めないが、公職選挙の当事者として、4年度の予算の肉付けをし、事業執行をおこなうべく名乗りを上げたが、残念ながらそうでなく編まれた予算と、それに従い執行された事業に対して認定するのは、当該選挙で残念ながら過半に達しはしなかったものの、私の町政への期待を求めた有権者・町民のみなさまに説明をすることができない。4年度の事業の詳細については、毎年目まぐるしく変わる人事による事業執行への混乱や、町民の誇り・愛着を醸成するための希少な機会である愛知駅伝事業に対して、まったく理解できない経緯説明や、有機を推進している中にも関わらず農学校での従来農法での指導など、町民に十分なお理解を得られがたい点もあるが、冒頭に述べた理由に勝るものはない。今後も、過半を超えずとも町民としての福祉向上を求める声に耳を傾けてもらえるよう、全力を尽くしてその声を発していく責任を自覚し不認定の討論とする。